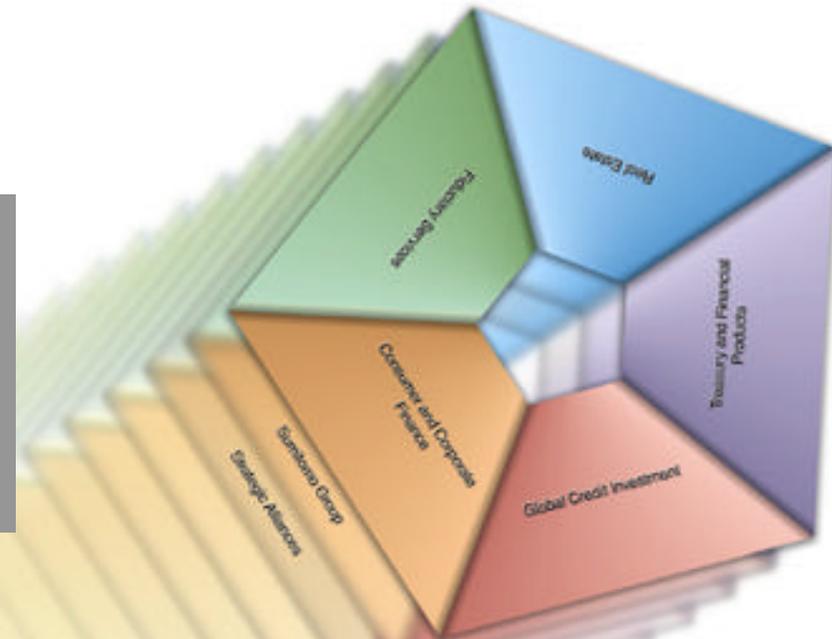




**Sumitomo Trust & Banking  
Co., Ltd.**



**メルリンチ 金融機関カンファレンス**

**2001年10月18日**

**的確」な運用と万全」の管理に  
圧倒的強みを持つ  
資産運用型金融機関の実現**





## ■四つの原則

---

- 収益の (ROE)向上に資すること
- 信託財管事業の強化に資すること
- 当社ビジネスモデルの継続
- マーケットの支持



## サバイバルのためのプライオリティ

---

- 公的資金返済
- 不良債権処理と政策株式圧縮の加速
- 突出感の創出
- 収益目標の必達



## 資本の状況 (経営健全化計画より)

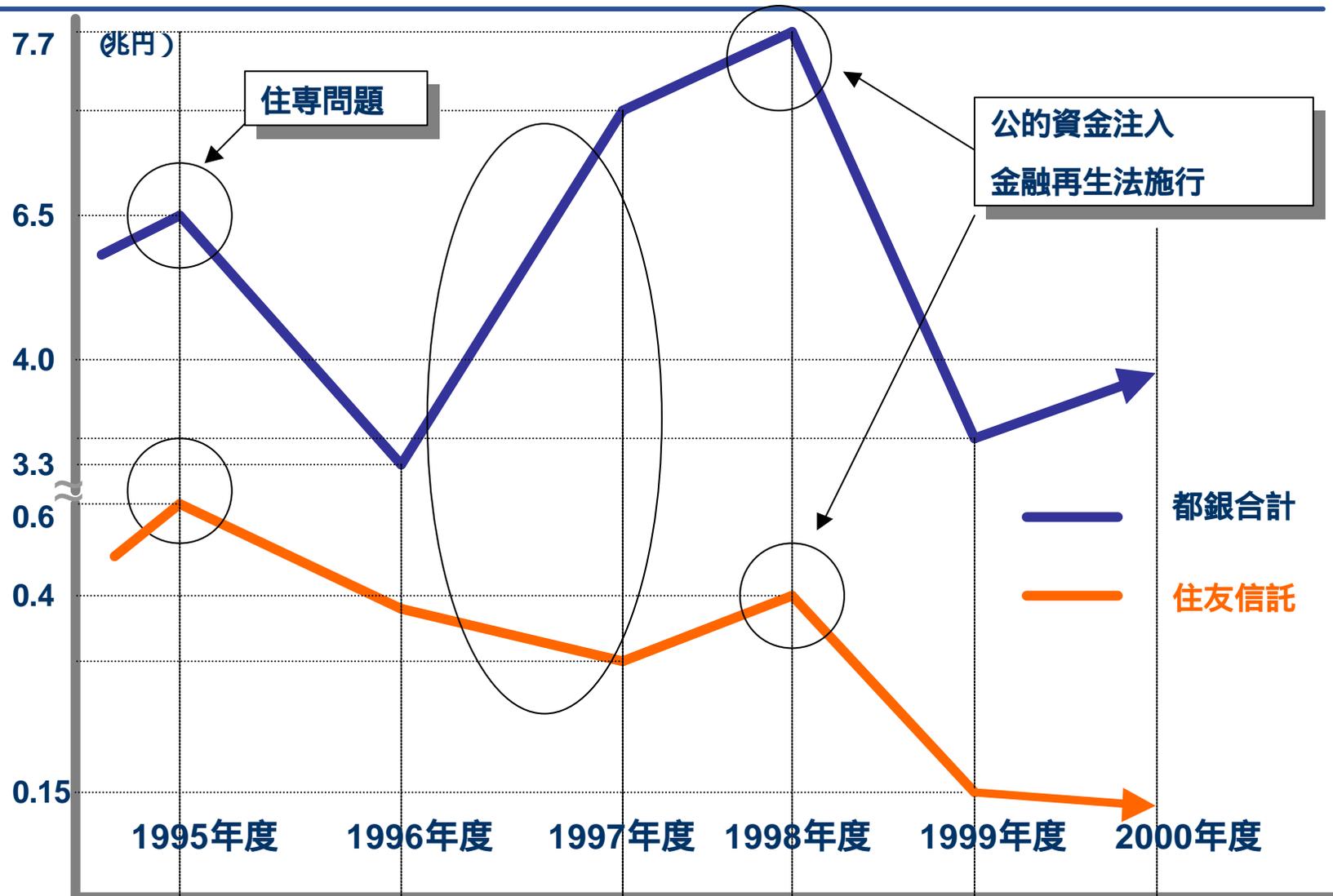
(単位:億円)	13/3期実績	14/3期計画	15/3期計画	16/3期計画	17/3期計画
連結自己資本比率	11.41%	11.54%	11.43%	11.92%	12.24%
Tier 比率	6.80%	7.00%	7.36%	7.84%	8.42%
自己資本	13,812	13,857	13,726	14,306	14,696
リスクアセット	120,982	120,000	120,000	120,000	120,000

○単体資本勘定の推移見込み

(単位:億円)	13/3期実績	14/3期計画	15/3期計画	16/3期計画	17/3期計画
単体資本勘定計	7,608	7,798	8,197	8,747	9,407
<b>うち 剰余金</b>	<b>1,740</b>	<b>1,908</b>	<b>2,226</b>	<b>2,773</b>	<b>3,433</b>

→公的資金1,000億円を十分に返済できるレベル (公的資金返済後の予想Tier I 比率 :7.58%)

## 不良債権の状況 (トレンド)



## 不良債権の状況 (破綻懸念以下)

### 自己査定ベースの資産の状況 (償却・引当後)

下段は2000/9末比増減

(億円)	銀行勘定				信託勘定			
	残高	分類	分類	分類	残高	分類	分類	分類
破綻先債権	342	10	331	0	69	0	69	0
	177	2	174	0	97	0	97	0
実質破綻先債権	360	43	317	0	82	1	80	0
	6	26	32	0	1	13	14	0
破綻懸念先債権	3,660	1,428	1,941	290	460	26	355	77
	1,851	1,099	382	369	175	39	48	87
合計	4,362	1,483	2,589	290	611	27	505	77
	2,021	1,128	523	369	271	54	131	87

(参考) 分類債権のうち不動産担保

・銀行勘定 :実質破綻先 約250億円、破綻懸念先 約1,270億円

・信託勘定 :実質破綻先 約70億円、破綻懸念先 約250億円

・合計 = 1,840億円

## 不良債権の状況 (要注意債権)

13/3月末 一般貸倒引当金による引当率の状況 (銀行勘定)

要注意先・正常先債権に対する引当率の状況

	13/3末	12/9末	12/3末
要管理先債権 <注>	15.1%	6.9%	5.7%
その他要注意先債権	6.3%	3.7%	4.0%
要注意先債権	6.7%	4.0%	4.1%
正常先債権	0.1%	0.1%	0.1%

<注> 要管理債権の(当社)定義について

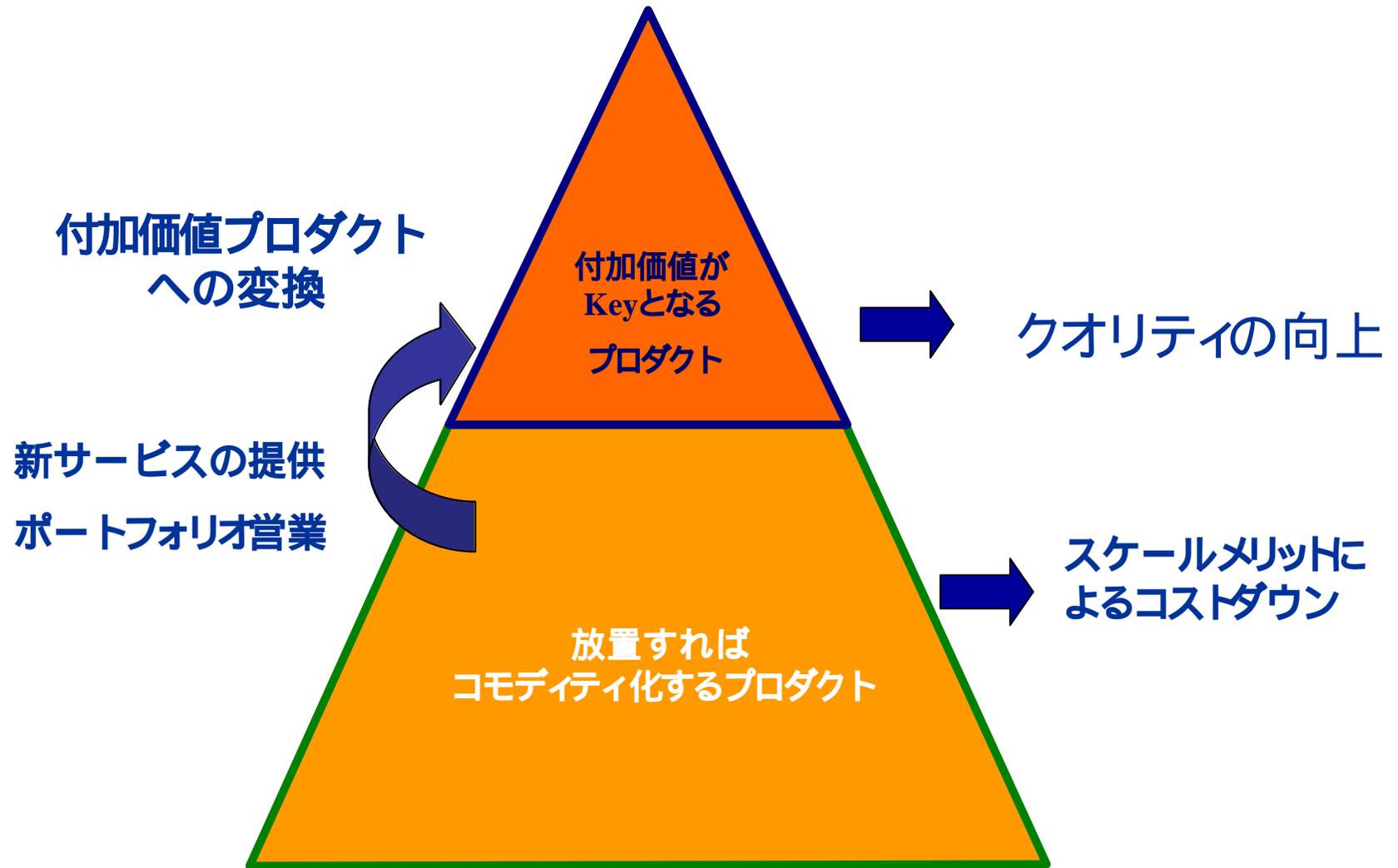
- 要管理債権 = 3ヶ月以上延滞債権+貸出条件緩和債権
- 貸出条件緩和債権 = (債務者の再建または支援を目的とした) 金利減免債権、「金利返済猶予」、「元本支払猶予」、「経営支援先」、「その他債務者に有利となる取り決めを行った債権」
- ここで「金利減免」の当社基準は以下の通り
  - プライム系貸出の場合 短期プライムレート/長期プライムレート- 50bsp を下回る水準まで約定金利を引き下げた債権
  - スプレッド貸出の場合 スプレッド50 bspを下回る水準まで約定金利を引き下げた債権



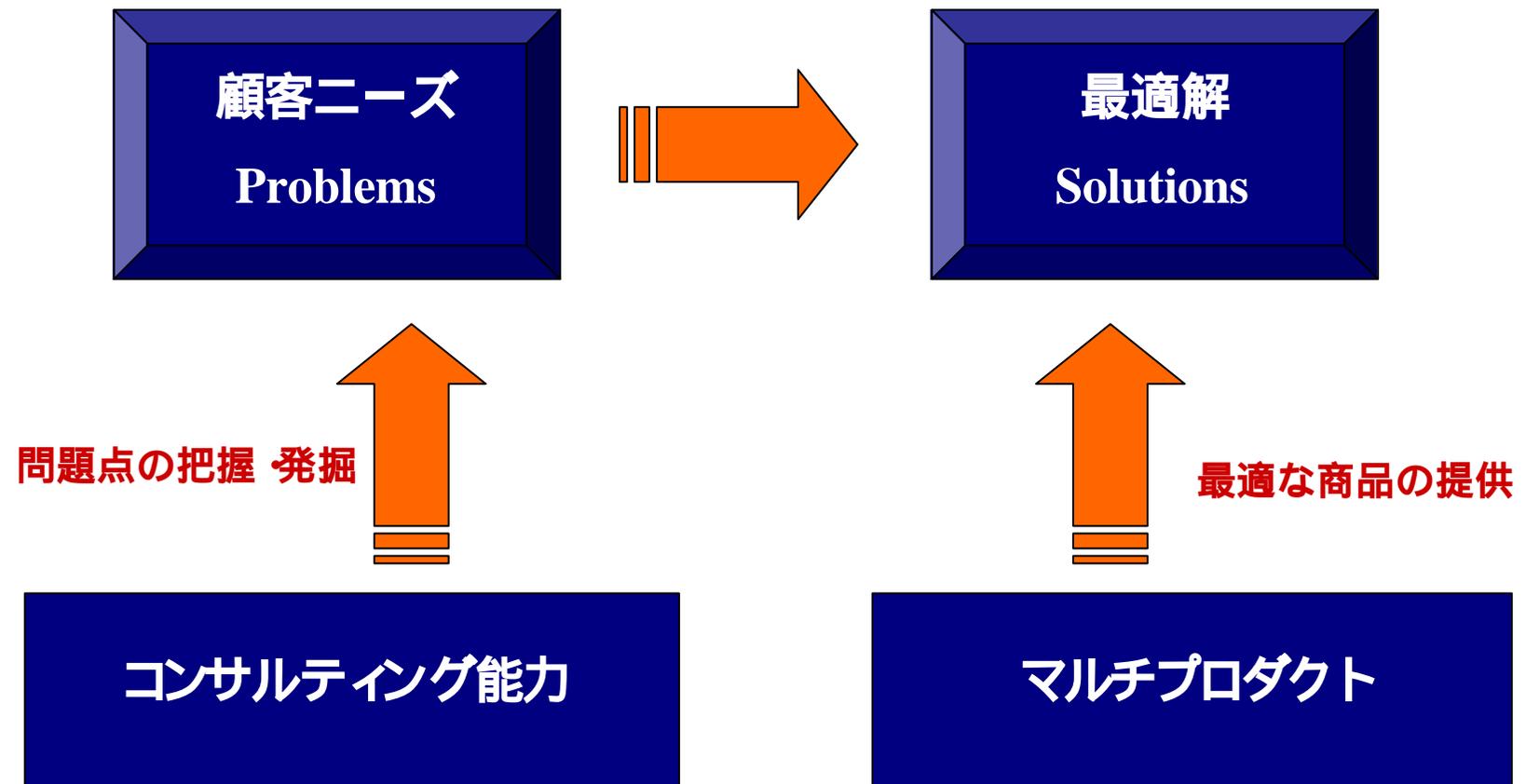
## 収益計画概要（健全化計画）

（単位：億円）	13/3期実績	14/3期計画	15/3期計画	16/3期計画	17/3期計画
修正業務粗利益	2,700	2,653	2,698	2,748	2,846
<b>その他信託報酬・役務取引等利益</b>	<b>731</b>	<b>820</b>	<b>880</b>	<b>930</b>	<b>980</b>
経費	1,259	1,253	1,248	1,248	1,246
<b>修正業務純益</b>	<b>1,441</b>	<b>1,400</b>	<b>1,450</b>	<b>1,500</b>	<b>1,600</b>
貸出関係損失（注2）	1,468	800	600	300	300
<b>当期利益</b>	<b>426</b>	<b>300</b>	<b>450</b>	<b>660</b>	<b>770</b>
経費率	46.6%	47.2%	46.3%	45.4%	43.8%
ROE	6.5%	4.4%	6.3%	8.7%	9.4%
<b>財管手数料等利益割合</b>	<b>27.1%</b>	<b>30.9%</b>	<b>32.6%</b>	<b>33.8%</b>	<b>34.4%</b>
EPS（円）	28.8	20.1	30.5	44.9	52.5

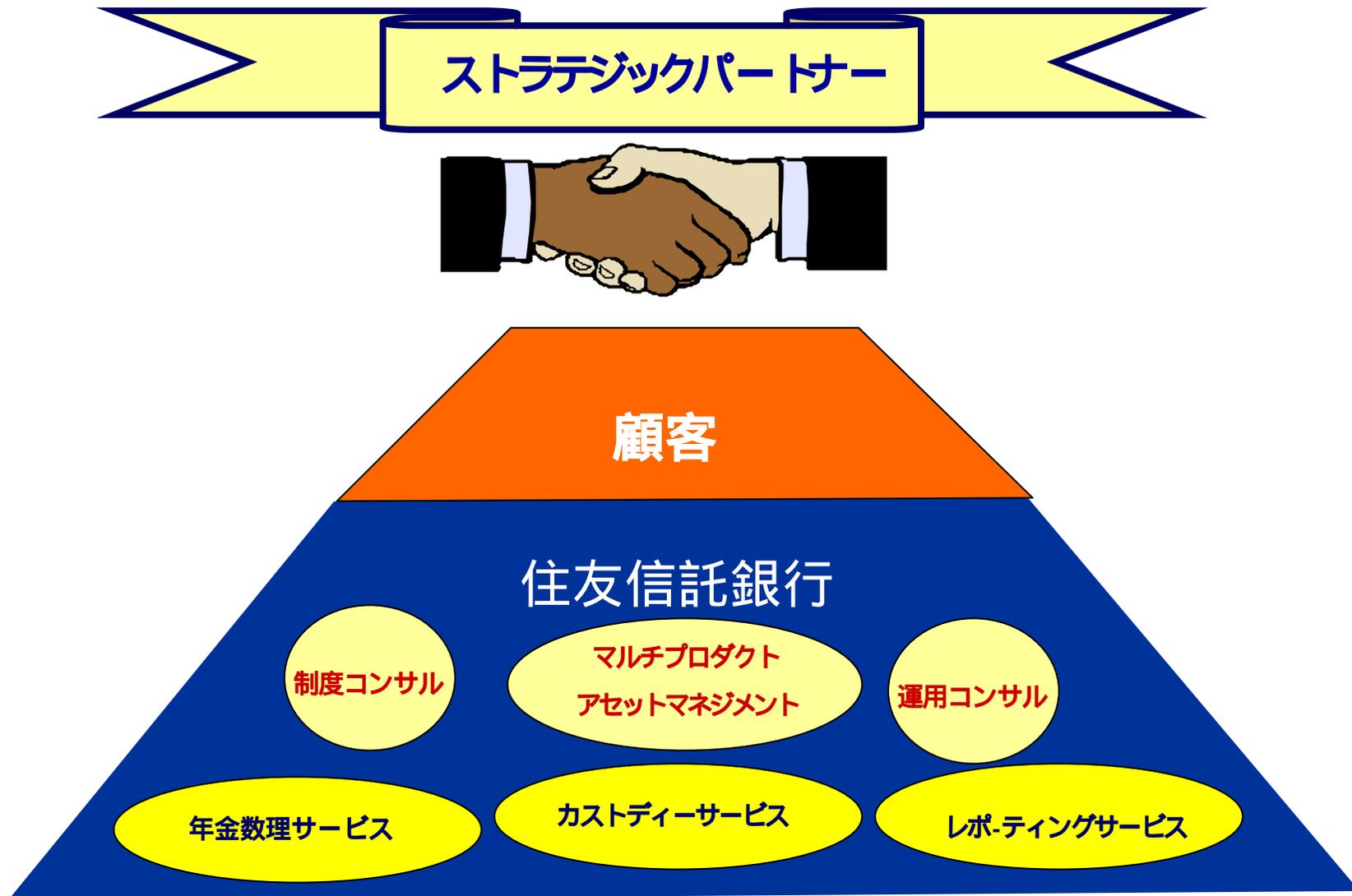
## 収益力強化の方策



## ソリューションビジネス

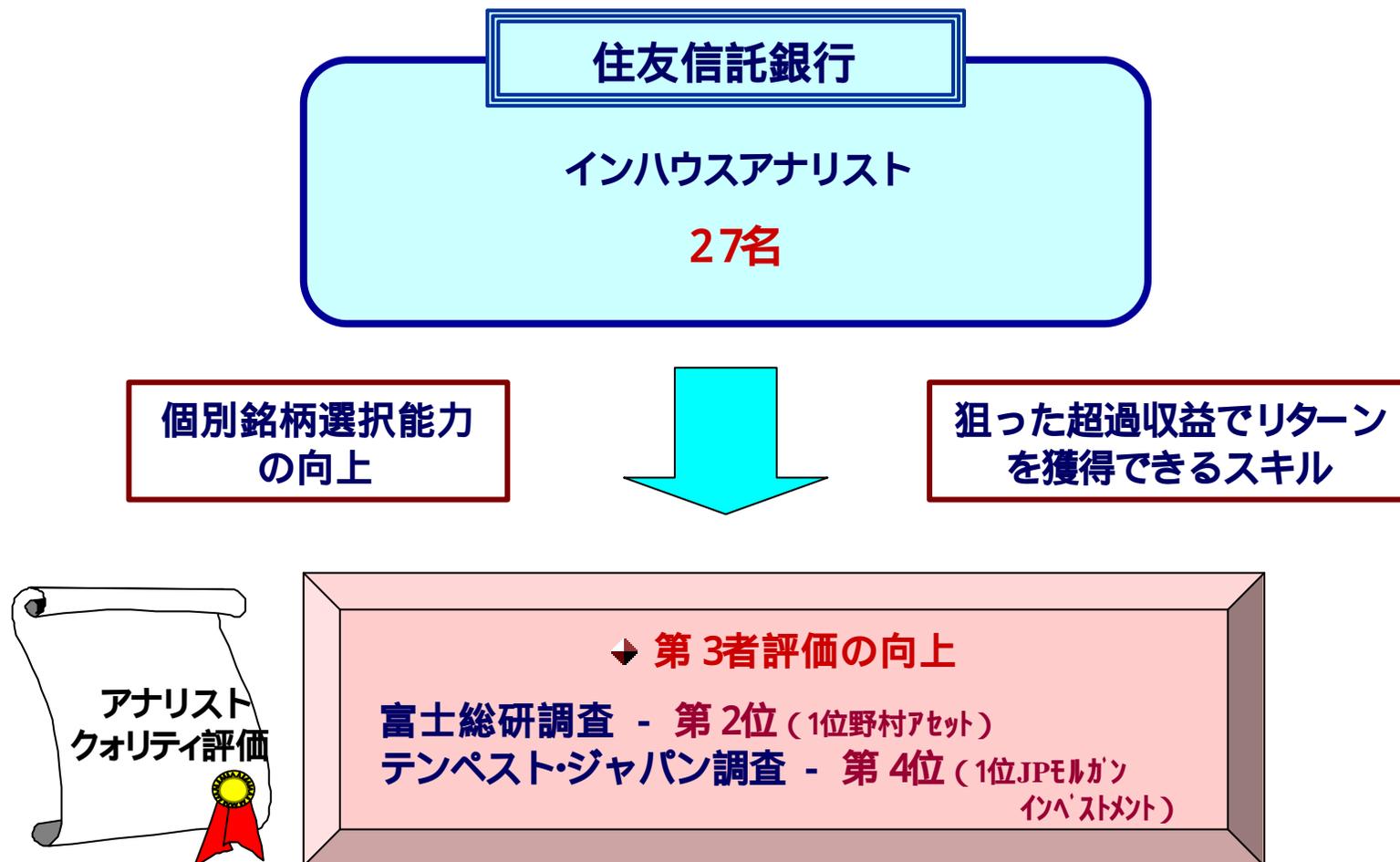


## ✦ ストラテジックパートナーシップ



## 住友信託のクオリティ

### 個別銘柄選択に強みを持つ運用

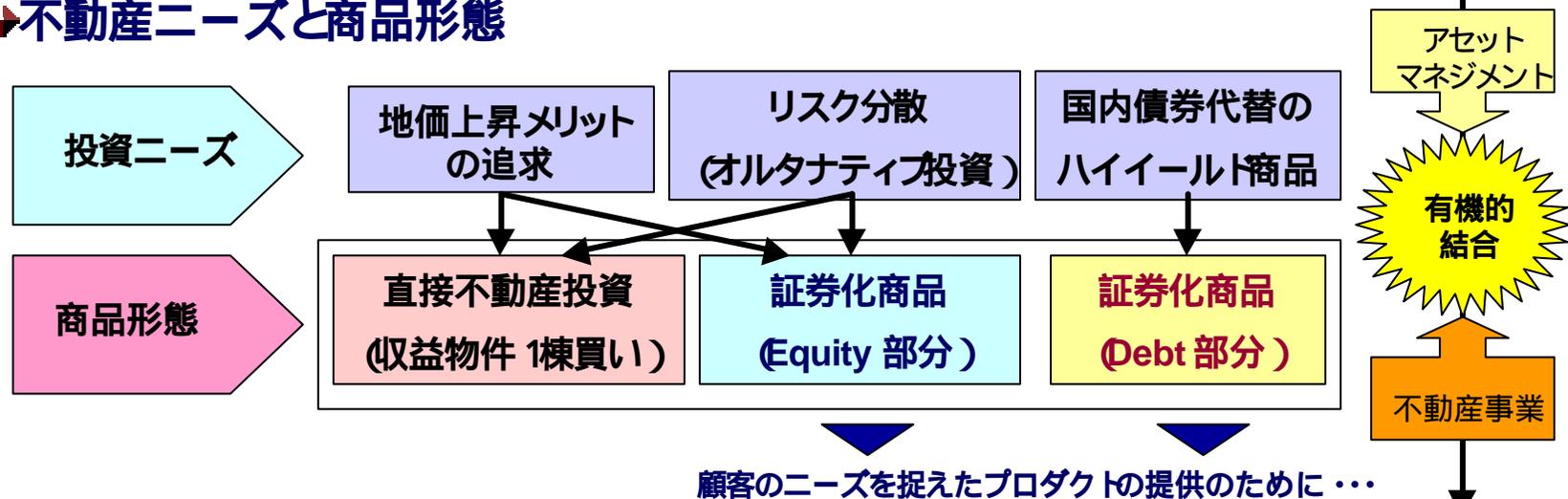


# ✦ プロダクト提供能力

## ■ マルチプロダクトの提供



## ➡ 不動産ニーズと商品形態



実物不動産以上に多岐にわたるデュー・ディジジェンスの徹底

住友信託銀行 不動産投資顧問部

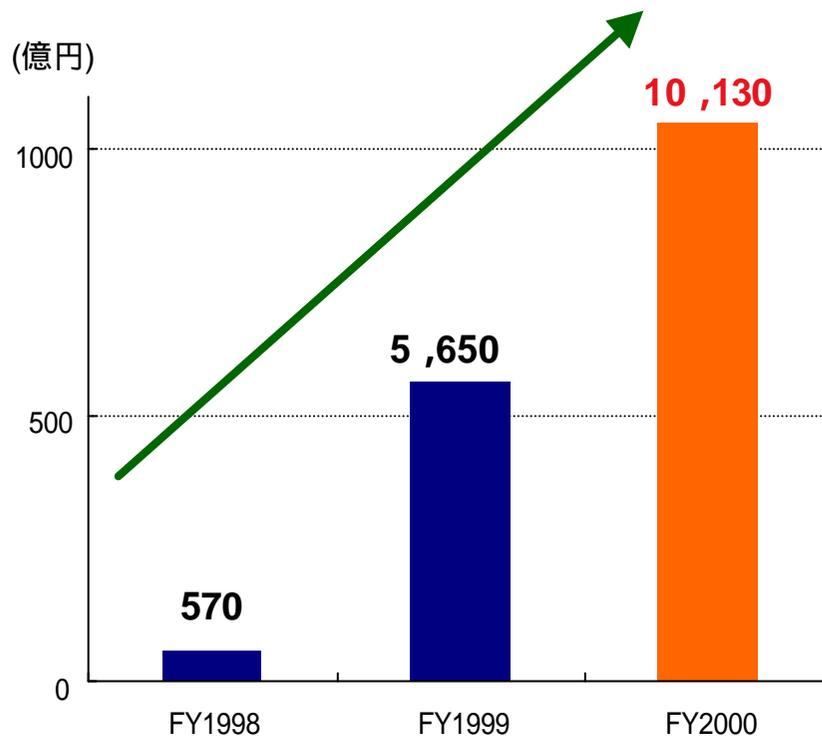
(不動産コンサルティングの専門部署)

ディスクロース性が高く、投資に値する商品の選別

# 不動産証券化

▶ リーディングポジション (シェア 30%)

➡ 不動産管理信託受託残高



➡ 企業

ニーズ

不動産処分ニーズ



- ▶ バランスシート改善
- ▶ 時価会計導入

➡ 住信

不動産管理信託サービス



証券化 / REIT

➡ 住信

アセットマネジメントサービス



ニーズ



- ▶ 投資手法の洗練化
- ▶ インフラ整備
- ▶ 流動性向上

➡ 投資家

オルタナティブ投資ニーズ

## 付加価値ビジネスの共通プラットフォーム

### アセットマネジメントの例

#### ➡ Institutional



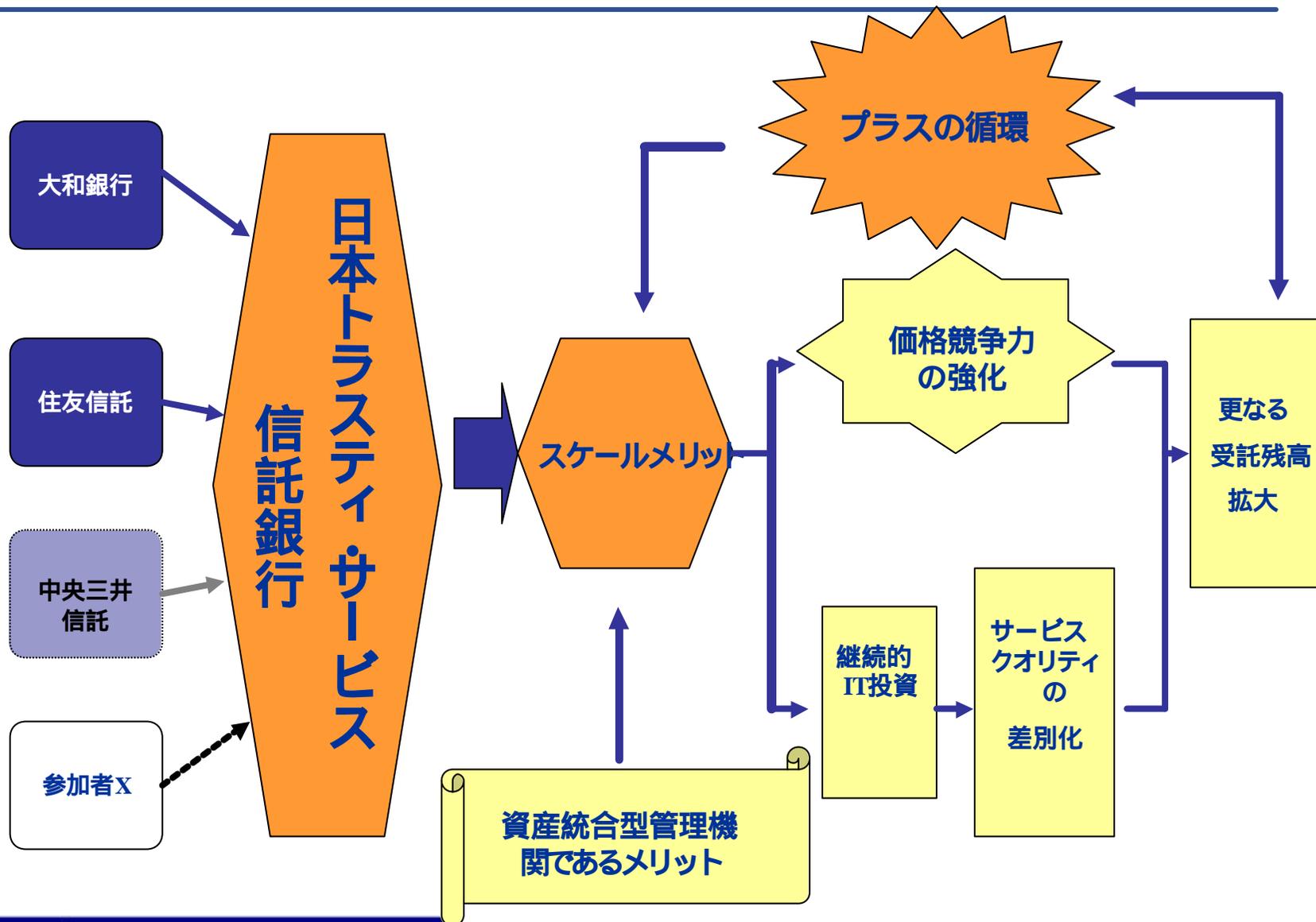
#### ➡ Retail



#### ➡ High Net Worth

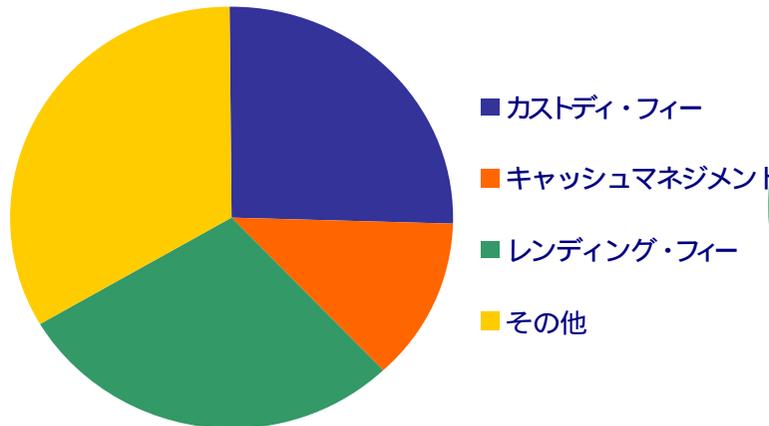


# JTSBによるスケールメリット



## ■カストディビジネスが目指すモデル

NY現法収益構成1996年度  
粗利益25百万ドル

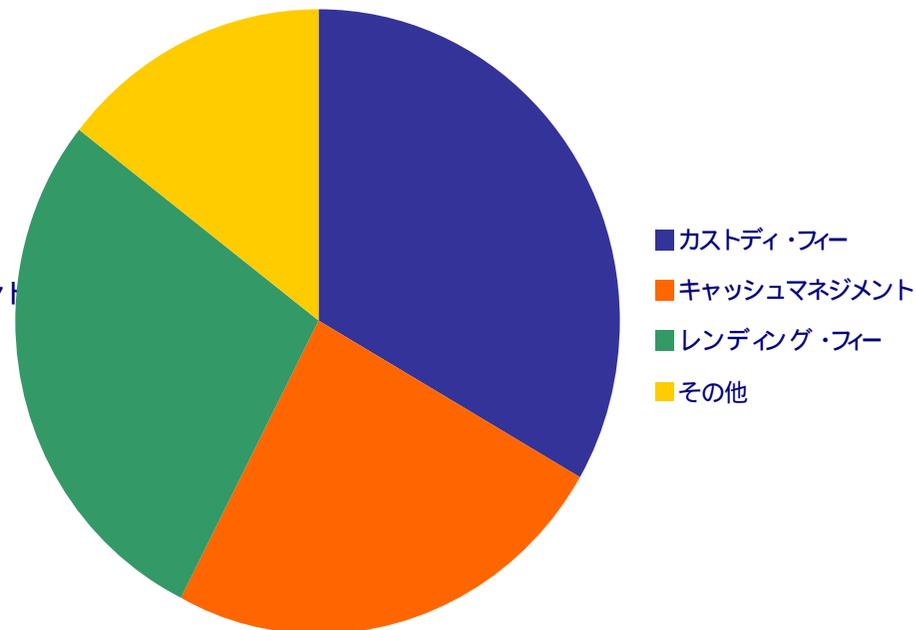


経費率42%

ROE 8.42%

NY現法収益構成2000年度

粗利益62百万ドル

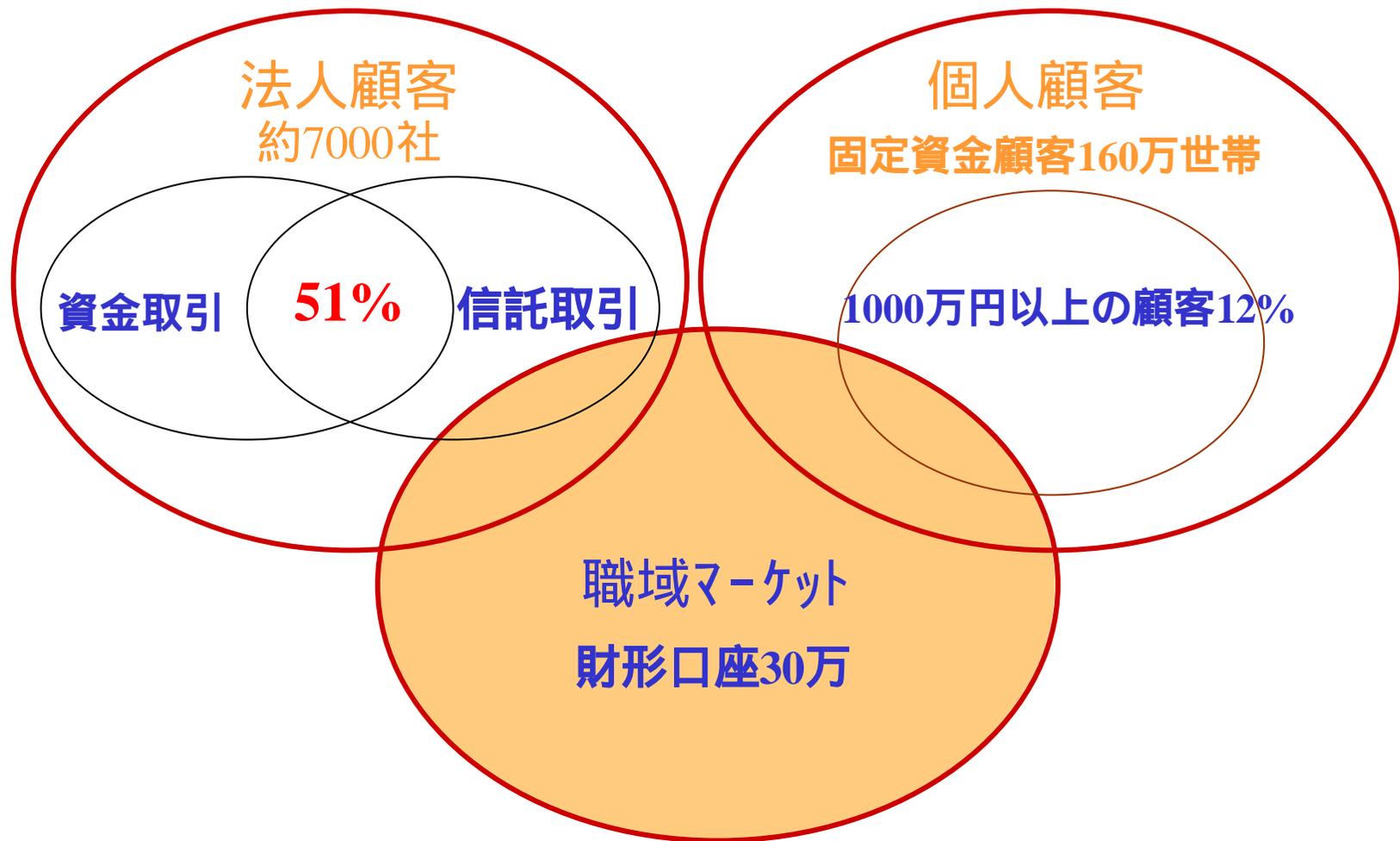


経費率35%

ROE 23.7%



## 住友信託のフランチャイズ



- 収益 (ROE)の向上に資すること
- 信託財管事業の強化に資すること
- 当社ビジネスモデルの継続
- マーケットの支持

- 公的資金返済
- 不良債権処理と政策株式圧縮の加速
- 突出感の創出
- 収益目標の必達



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや、不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。